

景観配慮協議申出書

2019年12月18日

(宛先) 鎌倉市長

住所 東京都港区赤坂1丁目1番12号

届出者氏名 明産株式会社

代表取締役社長 島村元治

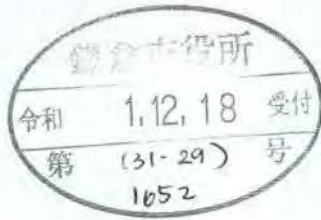
電話 03 (5563) 8851

住所 東京都港区港南2丁目15番2号
品川インターシティB棟

代理人氏名 株式会社大林組一級建築士事務所

小林 利道

電話 03 (5769) 1312



〔 法人その他の団体にあつては、その主たる事務所の所在地、名称及び代表者氏名を記入してください。 〕

次のとおり申し出ます。

土地利用類型 の 名 称	海浜住商複合地		
景 観 地 区	<input type="checkbox"/> 内 () <input checked="" type="checkbox"/> 外		
設 計 者	住 所	東京都港区港南2丁目15番2号 品川インターシティB棟	
	氏 名	株式会社大林組一級建築士事務所 小林 利道	電話 03(5769)1312
行 為 の 場 所	地 名 地 番	鎌倉市材木座5丁目977番6号	
	用 途 地 域	第一種住居地域	防火地域 <input type="checkbox"/> 防火 <input type="checkbox"/> 準防火 <input checked="" type="checkbox"/> 指定なし
	そ の 他	<input checked="" type="checkbox"/> 風致地区 <input type="checkbox"/> 歴史的風土保存区域 <input type="checkbox"/> その他()	
行 為 の 種 類	建 築 物	<input checked="" type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 増築 <input type="checkbox"/> 改築 <input type="checkbox"/> 移転	
	開 発	<input type="checkbox"/> 土地の区画の変更 <input type="checkbox"/> 土地の形質の変更	
特 定 地 区	<input type="checkbox"/> 内 (<input type="checkbox"/> 由比ガ浜 <input type="checkbox"/> 由比ガ浜中央 <input type="checkbox"/> 鎌倉芸術館周辺地区) <input checked="" type="checkbox"/> 外		
行 為 の 期 間	着手予定 2020年 3月1日	完了予定 2021年 3月31日	

(裏)

建築物の概要	用途	有料老人ホーム			
	最高の高さ	9.90m	階数	地上 3階 地下 = 階	
	構造	鉄筋コンクリート造			
	敷地面積	1122.14 m ²			
	建築面積	442.30m ²	届出以外の部分	0m ²	合計 442.30m ²
	延べ面積	1147.97m ²	届出以外の部分	0m ²	合計 1147.97m ²
	屋上に設置する建築設備の種類及び高さ	□ 高架水槽 m ■ その他 m			
	色彩の変更部分とその面積	面積 m ²			
仕上材	屋根	コンクリート仕上げ	色彩	屋根	グレー (N6)
	外壁	コンクリート打ち放し+塗装		外壁	壁面： グレー (N7.5) ダークグレー (N3) ブラウン (10YR7/4)
開発行為の概要	開発区域の面積	m ²			
	行為の目的	分割 (区画) (最小区画面積 m ²) その他 ()			
	行為の内容	切土 (m ³) 盛土 (m ³) その他 ()			

(注) 1 仕上材欄には、表面仕上の材料をできるだけ詳しく記入してください。

(例：日本瓦、波型スレート、小口タイル等)

2 色彩欄には、マンセル表色系を記入してください。

3 この届出書には、景観配慮に関する見解書及び鎌倉市都市景観条例施行規則別表第1に掲げる図書を添付してください。

景観配慮に関する見解書

1. 共通事項

行為計画地周辺の景観の特徴（景観的特性、景観資源等）をつかみ、記入する。

着 眼 点	計 画 地 周 辺 の 現 況 等 記 入 欄
地 域 的 特 徴	敷地北西側、南西側は幅員3m程度の私道を跨いで住宅地があり、その向こうには国道134号線が通り、材木座海岸が広がります。敷地南東側、北東側は住宅が立ち並んでいます。
まち並みの連続性	敷地周辺は住宅地が敷地を囲むように立ち並んでいます。
周辺建物のデザイン	敷地周辺の住宅地では勾配屋根の住宅が多く見られます。
眺 望 景 観	敷地周辺は住宅地に囲まれ、敷地地盤面上の目線での眺望は望めません。
景 観 資 源	敷地南西、北西側の住宅地を越えた先の海と敷地周辺の住宅地から垣間見える植栽。

2. 建築物の建築

1で整理した内容、土地利用類型別の方針及び基準を踏まえ計画し、各項目の自己評価を行い、配慮した事項を記入する。

項 目	自 己 評 価	配 慮 事 項 記 入 欄
配 置	◎	なるべく敷地中央に配置することで、周囲の住宅地に対する圧迫感を軽減しました。
形 態 意 匠	◎	南北軸に対し水平に伸びる低層の扇型の形状とすることで、周囲建物の高さや規模に合わせた形態としました。
色 彩	◎	外壁は高明度且つ低彩度のグレーとし、バルコニー庇を白色とすることで、周囲の海浜らしい明るい爽やかな外観にしました。
建 築 設 備	◎	本建築物の屋上中央に配置し、敷地周囲の私道及び国道134号線から極力見えない位置とすることで、周囲の景観に配慮しました。
外 構 緑 化	◎	敷地南西面、北東面、南東面に樹木や芝を植え、落ち着きのある閑静な住宅地の一部になるよう配慮しました。

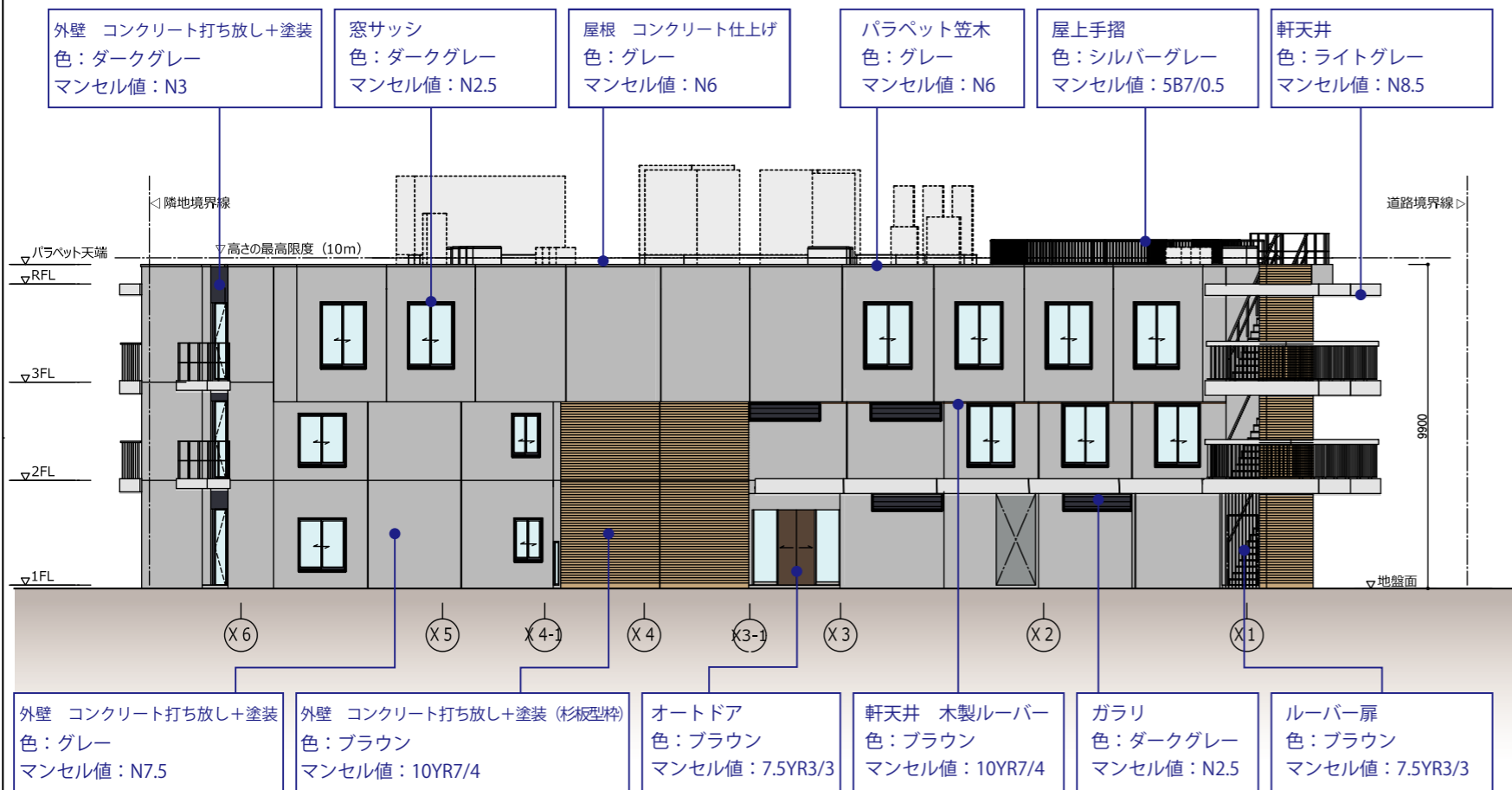
3. 開発行為

1で整理した内容、土地利用類型別の方針及び基準を踏まえ計画し、各項目の自己評価を行い、配慮した事項を記入する。

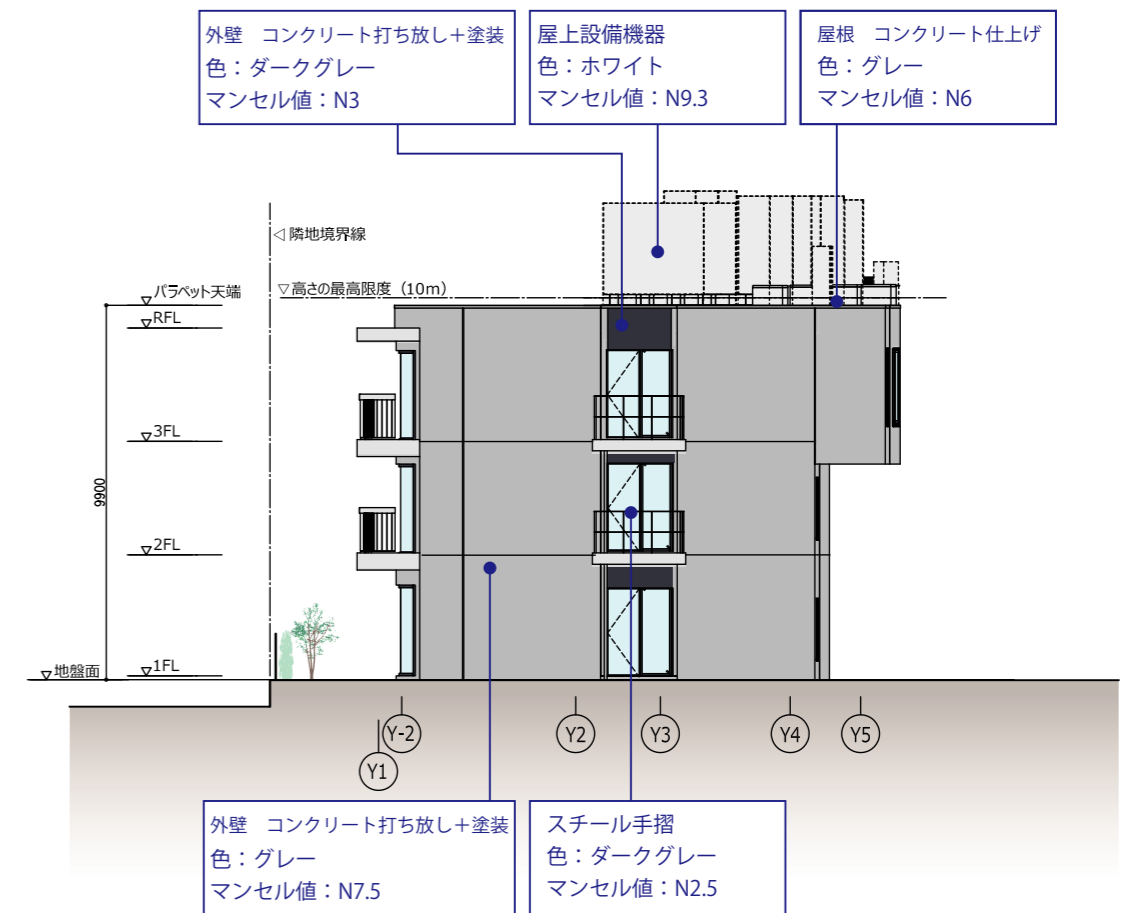
項 目	自 己 評 価	配 慮 事 項 記 入 欄
造 成		
擁 壁		
敷き際・緑化		



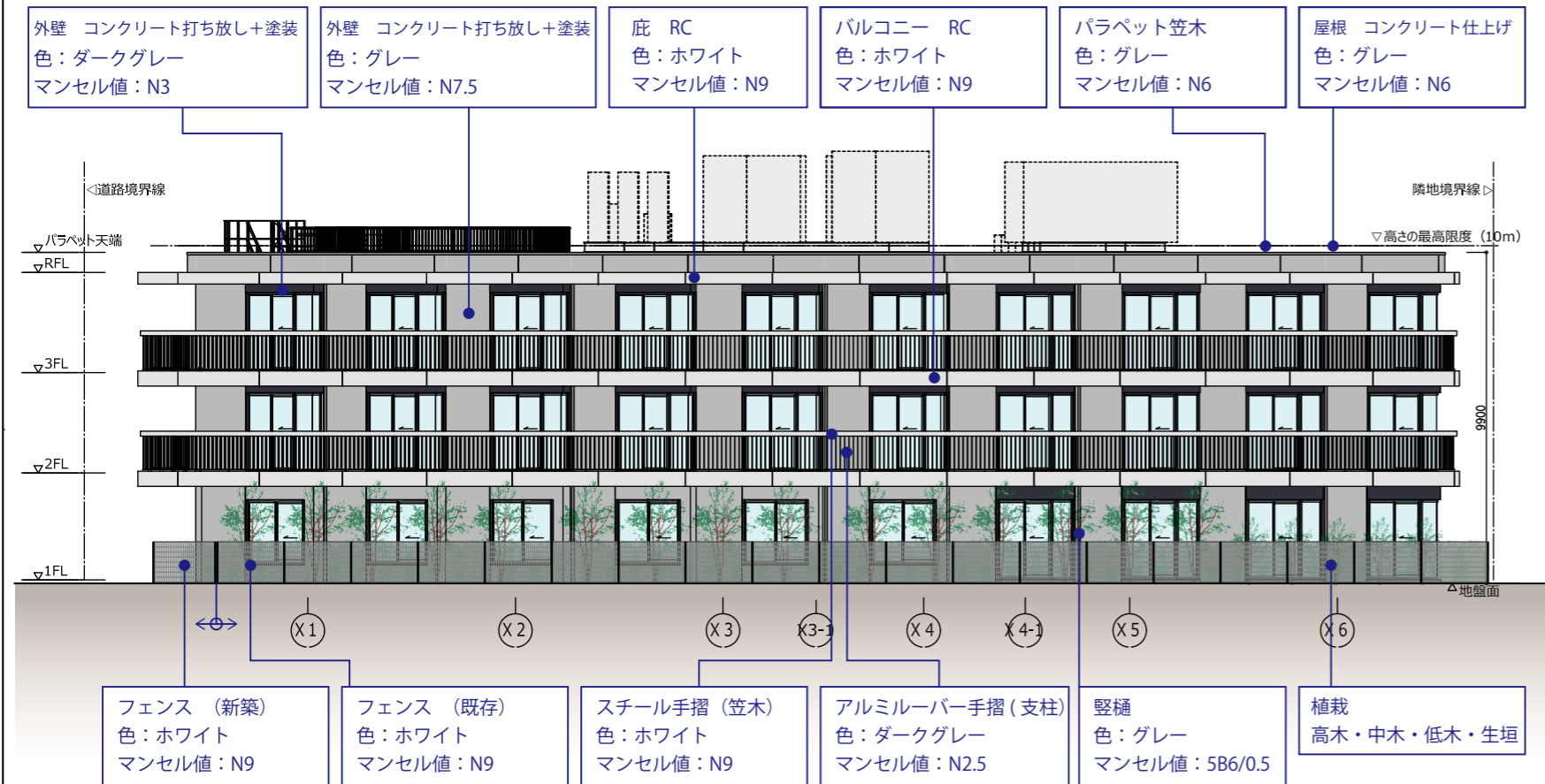
	株式会社 大林組			(仮称) 鎌倉市材木座5丁目計画	景観配慮協議
				付近見取り図	意



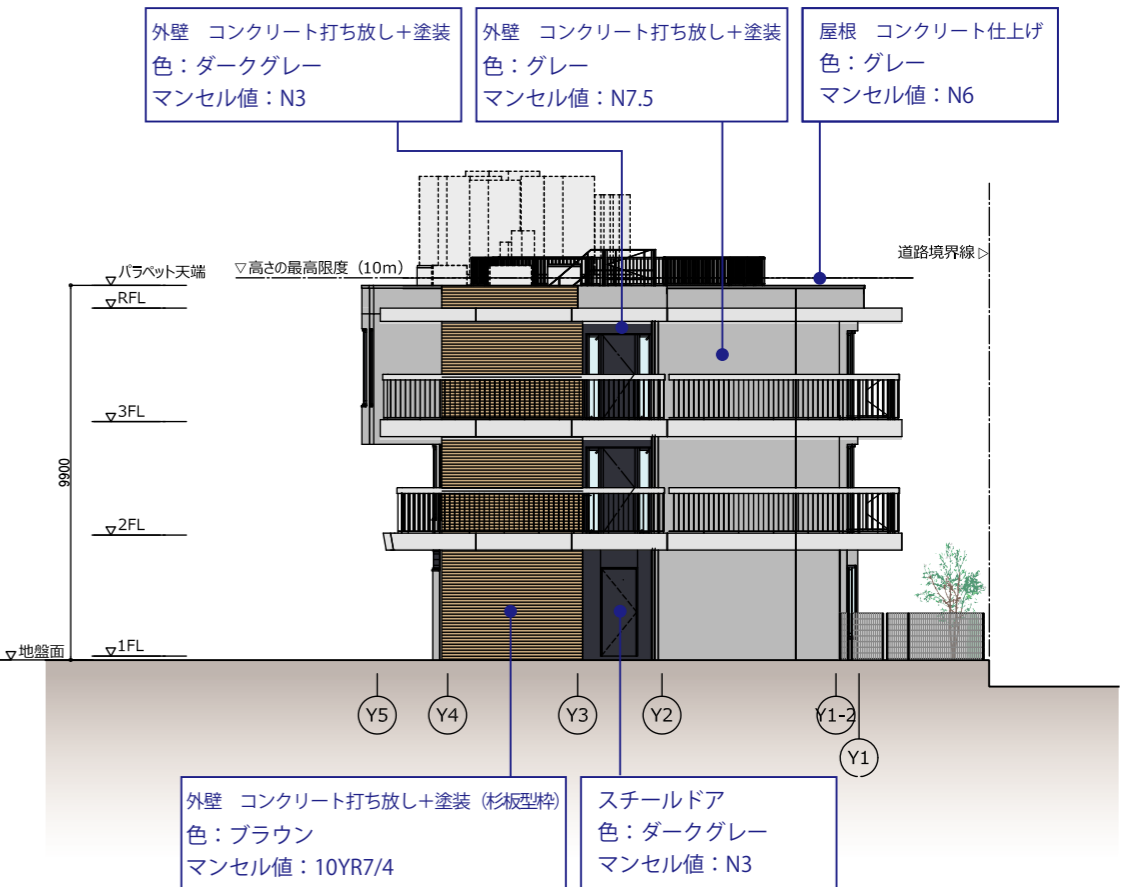
北立面図 1/200



東立面図 1/200



南立面図 1/200



西立面図 1/200